

令和8年度 看護部目標

『一人ひとりに寄り添い、
その人らしさを尊重した温もりのある看護』

1. 良質で安心・安全な医療サービスの提供

- 1) 「その人らしく生きる」を支える ACP の実践
- 2) 地域医療連携機能のさらなる強化
- 3) 患者の生活を途切れさせないシームレスな継続看護
- 4) アメニティ*と患者経験価値*を向上させ患者満足度の継続的改善
- 5) 地域住民および医療従事者への啓発活動の継続

2. 病院経営への参画意識の向上

- 1) 経営指標*の達成に向けた看護部の役割発揮
- 2) 看護部主体の効率的で効果的な病床運営
- 3) 診療報酬加算獲得による診療単価の増加
- 4) 費用の見直しと適正化

3. 提供する看護の質向上と効率化の両立

- 1) PNS[®]の再構築
- 2) 質評価指標 (QI) を用いた看護の可視化
*重点項目：身体拘束率の減少
- 3) 倫理的思考と根拠に基づく看護実践
- 4) タスクシフト・タスクシェアの推進と業務改善による効率化

4. 体系的な人材育成と定着化向上による組織力の強化

- 1) キャリアラダーを活用した能力開発の推進
- 2) 認定看護師および看護管理者の計画的な次世代育成
- 3) 特定行為研修の推進と修了者の活用
- 4) 働きやすい職場環境の整備と離職防止
- 5) 職員間のコミュニケーションと組織文化の強化
- 6) 看護学生・看護職員に選ばれるためのブランド化

*アメニティ：快適で魅力ある環境・サービス（接遇含む）

*患者経験価値 PX（パイシエント・エクスペリエンス）：患者が医療サービスを受ける中で経験する全ての事象

経営指標：1日平均入院患者数 185名 平均在院日数 14日 新入院患者数 12名 病床稼働率 85.0%

救急応需件数 3,351件 救急応需率 89.3% 救急入院率 50%

